

# SLyDIF<sub>I</sub> でらくらくスライド作成

monaqa

2019 年 8 月 3 日

はじめに

# SLyDIF<sub>I</sub>: SATySF<sub>I</sub> のスライド作成用パッケージ

---

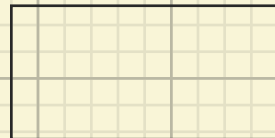
- (i) **SATySF<sub>I</sub>** (<https://github.com/gfngfn/SATySF<sub>I</sub>>)
  - (i) 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
  - (ii) 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
  - (iii) パッケージをカスタマイズする際の構文は OCaml 風
- (ii) **SLyDIF<sub>I</sub>** (<https://github.com/monaqa/slydif<sub>I</sub>>)
  - (i) SATySF<sub>I</sub> でスライドを作成することができる
  - (ii) 実は既に先駆者がいる ([Steamer: Slide Presentation in SATySF<sub>I</sub>](#))
    - (i) Steamer とは page break 周りの実装を少しばかり変えている

# 画像はりテスト

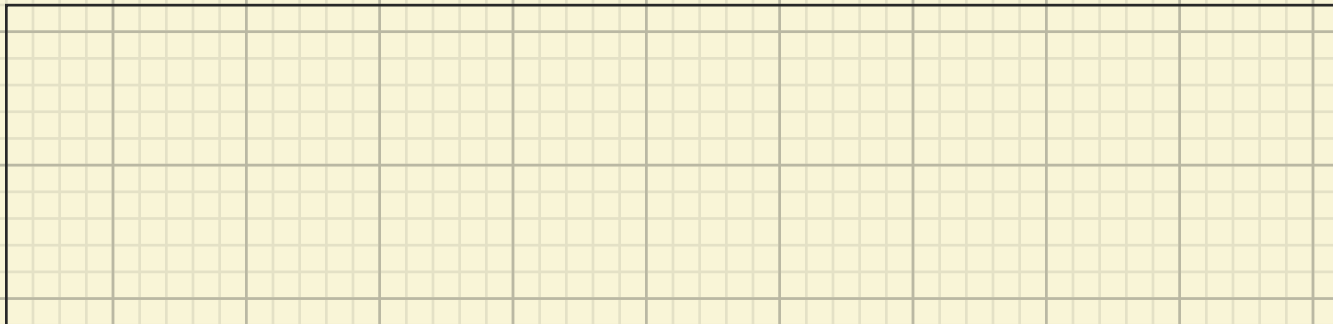
---



いろんな画像が貼れる．JPEG と PDF に対応している他，  
DummyBox を用いてダミー画像を貼ることも出来る．



- (i) `\insert-image`: 本文中に画像を貼る．
- (ii) `\fig-abs-pos`: 絶対座標を指定して画像を貼る．
- (iii) `\fig-right`: コマンド挿入箇所の右端に画像を貼る．



# 機能一覧

# 演算

以下がリスティングの例.

[illegible]

(i) foo bar foobar

(ii) ひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよ  
ひよひよひよひよひよひよ

(i) foo bar foo bar

(ii) ふがふが

(ii) 連続しても

(iii) 大丈夫です